

## 出席者一覧

今回の協議会には、  
以下の方々が出席されました。

### ●委員

(敬称略)

所属	職名	氏名	備考
旭川市教育委員会 生涯学習部 青少年課	課長補佐	坂無 博	代理出席
旭川市立永山東小学校			欠席
旭川市立永山小学校	PTA会長	太田 覚	
旭川開発建設部 治水課	課長補佐	羽山 英人	
旭川開発建設部 旭川河川事務所	計画課長	桑原 誠	
旭川市土木部公園みどり課	主 査	沖本 亨	
財団法人 旭川河川環境整備財団	専務理事	富所 博信	
NPO法人 水と緑のふるさと永山を育てる会	事務局長	佐藤 佳明	
元永山新川水辺づくり意見交換会	会 長	加藤 雅規	座 長
永山第二地区市民委員会	環境衛生部長	山崎 芳子	
児童クラブ ホロホロ	代 表	谷地元 雄一	

### ●事務局

(敬称略)

所属	職名	氏名	備考
旭川開発建設部 治水課	河川環境管理官	中山 仁	
〃	治水専門官	吉田 公明	
〃	河川計画係長	米元 光明	
〃	河川計画係	公平 圭亮	
〃	河川環境係	上畑 一樹	
旭川開発建設部 旭川河川事務所 計画課	専 門 職	竹森 政彦	
〃 第1工務課	第1公務係	野村 佐和美	
財団法人 旭川河川環境整備財団	事 務 局 長	佐々木 忠義	司 会
株式会社 北海道ジェイ・アール・エージェンシー	ディレクター	小椋 尚希	

## 主な意見交換

今回の協議会では、活動の方針や位置づけなどを中心に話し合い、参加者それぞれの立場や経験にもとづいた貴重な意見が交換されました。その主な内容は、つぎのとおりです。

### 対象児童について

- 子どもの対象年齢をどう設定するか。
- 低学年は浅瀬で遊ばせ、高学年はやや急流で高度な遊びをさせると興味がわくのではないか。
- 下級生は上級生に遊び方の指導を受けながら学び、上級生にはわくわくする場所の提供など、ボーナスがあると良いのではないか。
- 「さらら」のイベントだけでなく、今後は総合学習にも対応したい。

### 危機管理について

- 危険・事故時の保障をどうするか。
- 危険性を知らずに無茶をする子どもを、どのように管理し遊ばせるか。

### 環境教育面について

- 永山新川を「都会の中の自然」と位置づけ、わざわざ遠くに自然を求めなくても、ここで親子や家族、仲間が楽しめるような構想を求めている。
- 人や自然にやさしい取り組みが重要。
- ゴミの有料化にとめない、ポイ捨ての横行なども心配される。情報提供や注意・啓蒙策などにも目を向けるべきである。大人も含め、ゴミ拾いなどを実施したい。
- 糞尿問題があるので、ベットの立ち入り禁止も検討すべきではないか。

### ハード整備面について

- 手作りできるもの(丸太の階段や簡単な細工など)を地域に提案し、考慮していきたい。河川管理者側が資材を提供し、永山の人々が積極的にかかわって、地域の自慢となるものをつくりたい。

### 水辺づくりのイメージについて

- これまでのエコキャンペーンを発展させ、「エコ・ホテルまつり」をめざしてホテルを飛ばしてはどうか(例:沼田町)。そのためには、ハード・ソフトを含め、我々が自然を手助けして環境をつくっていくことも必要である。
- 永山新川での川遊びが「ふるさとの思い出」になるといい。
- 友だち、仲間と遊びながら学ぶ場づくりをめざしたい。

また、水辺づくりの基本情報として、人工河川である永山新川の特長が、以下のよう  
に伝えられました。

### 永山新川の特長

- 元々は、洪水時のみ分水路として使われる計画だったが、工事中に野鳥(特に白鳥)が飛来するようになり、現在のように水が流れる環境になった。
- 水深も浅く安全に利用が可能な環境。止水工がら所所にあり、フラットな水面ではあるが、川をすぼめることで水だまりや急流もつくられている。
- しかし、できたばかりの人工河川なので、まだ大雨を経験しておらず、洪水時の流れなどに不明な点もある。



満場一致で加藤氏を座長とし、議事が進行了ました。



あらゆる角度から、さまざまな意見が出されました。

本協議会は、今後も定期的に意見交換会を開催し、具体的な活動内容と方針を構築するとともに、来年3月の「子どもの水辺」登録をめざします。

また、今回の参加者には小学生などの子どもを持つ世代が少なかったことから、次回以降は地元小学校の父兄にもオブザーバーとしての参加を呼びかけ、その意見を反映させていく考えです。